

からくり人形が「能」を舞う



令和になって最初の正月に贈る

からくり人形による 新春能

薩摩琵琶と共に

さんばそう
からくり女三番叟
からくり三番叟
からくり道成寺
琵琶と能管 扇の的

玉野 宮夫 (能管) 細川 華鶴子 (薩摩五弦琵琶) 能楽・拍楽座一門

2020年 1月 5日(日) 14:00開演(13:30開場) [自由席]

一般3,000円 チャリティシート 3,300円 ハーフ60 1,800円

チケットのお求めは
11月17日(日)
10時より 販売開始
発売初日はお電話受付のみ

宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718

「ハーフ60」「チャリティシート」のチケットは、宗次ホールチケットセンターのみで取扱いとなります。
「ハーフ60」=後半のみの当日券。事前予約受付不可。

●チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999 [Pコード:168-339]

くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

能管 玉野 宮夫 たまのみやお

能楽藤田流笛方、故 笈三男に師事。観世流名譽師範。「能楽・拍楽座」代表。平成15年中国杭州大家芸術大学にて能のワークショップ、平成16年ネパール王立美術館にて能を上演。平成18年パリ第2区市役所では、からくり「三番叟」を上演して脚光を浴びる。地元犬山では毎年3月に大縣神社梅華能開催。近年、平家物語を題材とした薩摩琵琶とのコラボレーションに取り組み、「壇ノ浦・耳なし芳一」などの古典物に能管を取り入れ、新たな芸風を確立した。

薩摩五弦琵琶 細川 華鶴子 ほそかわ かつこ

平成4年より薩摩琵琶錦心流を学んだ後、平成6年より薩摩五弦琵琶の坂田美子に師事。平成17年日本音楽集団に入団。平成24年退団。平成27年ANET(愛知芸術文化協会)入会。ヨーロッパ、アジア公演のほか、国内各地で劇中演奏、朗読とのコラボ等、古典を中心に現代曲を問わず幅広く活動、近年、「グループ☆ななほ」を結成し、活躍中。

能楽・拍楽座一門



からくり三番叟&からくり道成寺

4人で25本の糸を操り、一体のからくり人形を人間が能を舞うように動かします。三番叟は五穀豊穡を祈り、新年を寿ぐ舞で、一瞬にして黒い翁の面になる「面かぶり」が見どころです。男の三番叟が大半の中で、女の三番叟は大変珍しく、本日は両方演じますので、違いを味わって下さい。道成寺は安珍清姫の伝説を元に作られたもので、絶世の美女が鐘の中に飛び込んで、蛇体の鬼女となって現れる「ぶっ返り」と「面かぶり」を同時にするのが見どころです。手にした鈴を打ち杖に持ち替え、着物が一瞬に変わると同時に、般若の面が変わります。本日のからくり人形は、二代目萬屋仁兵衛の作で、人形の顔の角度が一度傾くだけで、その表情が変わってきます。能面技法の顔をじっくりと味わって下さい。



宗次ホールのご情報はこちら！
お友達登録お待ちしております

♪ 随時更新中です



ID:@munetsuguhall



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業